



2020年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社PLANT

上場取引所 東

コード番号 7646 URL <https://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ッ田 佳史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山田 准司

TEL 0776-72-0300

定時株主総会開催予定日 2020年12月18日

配当支払開始予定日

2020年12月21日

有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の業績(2019年9月21日～2020年9月20日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	96,110	4.3	1,376		1,486		1,044	
2019年9月期	92,146	3.8	7	99.4	30	97.6	3,903	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	129.81		7.4	3.6	1.4
2019年9月期	482.69		24.8	0.1	0.0

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 百万円 2019年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	42,612	14,693	34.5	1,828.92
2019年9月期	40,544	13,643	33.7	1,687.58

(参考) 自己資本 2020年9月期 14,693百万円 2019年9月期 13,643百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	5,335	1,679	825	7,704
2019年9月期	1,492	6,057	5,126	4,874

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期		20.00		0.00	20.00	161		1.0
2020年9月期		0.00		18.00	18.00	144	13.9	1.0
2021年9月期(予想)		5.00		8.00	13.00		14.2	

3. 2021年9月期の業績予想(2020年9月21日～2021年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,000	2.3	350	177.9	400	100.0	280	91.7	34.85
通期	97,000	0.9	1,000	27.4	1,050	29.4	735	29.6	91.49

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期	8,090,000 株	2019年9月期	8,090,000 株
期末自己株式数	2020年9月期	56,280 株	2019年9月期	5,245 株
期中平均株式数	2020年9月期	8,046,151 株	2019年9月期	8,085,975 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当事業年度(自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)における我が国の経済は、当初、雇用・所得環境の改善が続く中、穏やかな景気回復基調で推移しておりました。しかし、その後、米中貿易摩擦や英国のEU離脱をはじめとする国際情勢の不安定さに加え、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響から、世界各国の経済は急激に減速に転じ、先行きの見通しが困難な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、政府や自治体が緊急事態宣言を発出し、外出自粛の動きが広がるなか、買いだめ需要や巣ごもり需要により、食品や日用品を中心に、消費は一部伸長いたしました。しかし、今後、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の終息の見込みが不透明であること、並びに感染症拡大を防ぐ新生活様式が消費にどのような影響を及ぼすかは予想ができません、当分の間、先行き不透明な状態が続くものと想定されます。

このような状況のもと、当社におきましては、お客様と従業員の安心・安全を最優先に消毒・清掃の強化、密閉・密集・密接のいわゆる「3密」を避けるための特売チラシの自粛、営業時間の短縮等のあらゆる新型コロナウイルス感染症対策を講じながら営業を継続し、社会的インフラとしての役割を果たしてまいりました。

また当社では収益改善を最重要課題として「売上高回復策」「粗利改善策」「経費削減策」の3つの施策に積極的に取り組んでおります。

当事業年度においては、「売上高回復策」として、競合との差別化を図るべくプライベートブランド商品の開発を強化しております。本部組織改革により専門部署を創設し、ファッションを中心としたプライベートブランド

「TARO&HANAKO」、食品・雑貨の生活必需品を中心とした「よりどころ」を立ち上げ販売を開始いたしました。「粗利改善策」といたしましては、商品構成の見直しや、バイヤーの交渉力強化を継続して行なっております。「経費削減策」といたしましては、各種経費の徹底的な見直しを行なっております。

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高は96,110百万円と前事業年度比4.3%増となりました。利益におきましては、営業利益は1,376百万円(前年同期比は営業利益7百万円)、経常利益は1,486百万円(前年同期は経常利益30百万円)、当期純利益は1,044百万円(前年同期は当期純損失3,903百万円)となりました。

なお、当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、42,612百万円(前年同期比2,067百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金の増加(前年同期比3,580百万円増)によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、27,919百万円(前年同期比1,018百万円増)となりました。これは主に、未払法人税等の増加(前年同期比376百万円増)によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、14,693百万円(前年同期比1,049百万円増)となりました。これは主に、当期純利益が1,044百万円となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ2,830百万円増加し、7,704百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は5,335百万円（前年同期1,492百万円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純利益1,449百万円、減価償却費1,204百万円、たな卸資産の減少1,050百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,679百万円（前年同期6,057百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出2,550百万円、定期預金の払戻による収入1,800百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出982百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は825百万円（前年同期5,126百万円の獲得）となりました。これは、長期借入による返済392百万円があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率(%)	41.1	46.7	33.7	34.5
時価ベースの自己資本比率(%)	28.8	26.9	14.6	16.2
債務償還年数(年)	2.6	0.9	—	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	21.0	54.2	—	49.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は、期末株価×期末発行済株式数により算出しています。

（注2）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債の内、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（注3）営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

（注4）利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注5）2019年9月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大が世界規模で続く状況下、日本国内の小売業界におきましては、消費者の行動や商品スタイルに変化が見られ、益々多様化する消費者ニーズへの対応が求められております。

消費者の節約志向は依然として根強く、低価格競争の激化、ネット販売や食品の宅配等の事業環境変化、人手不足のなか人材確保にかかる人件費をはじめ、物流コスト等各種経費が上昇し、今後も経営環境は益々厳しさを増すものと思われまます。

第40期（2021年9月期）につきましては、引き続き、「他社に負けない豊富な品揃えと低価格」「徹底したローコストオペレーション」を徹底的に追及し、「品揃えの充実」と「更なる低価格」の実現を目指します。

マーケティング戦略としましては、PBを強化し、新規顧客の獲得と粗利改善に努めると共に、ECへの対応も専門部署を新設し強化して参ります。

以上のことから、2021年9月期の業績見通しといたしましては、売上高97,000百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益1,000百万円（前年同期比27.4%減）、経常利益1,050百万円（前年同期比29.4%減）、当期純利益735百万円（前年同期比29.6%減）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (2019年9月20日)	当事業年度 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,674	9,254
売掛金	976	1,388
リース投資資産	26	29
商品	8,285	7,239
貯蔵品	28	23
未収還付法人税等	184	-
その他	1,222	624
流動資産合計	16,398	18,559
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,910	22,934
減価償却累計額	△12,932	△13,550
建物 (純額)	9,977	9,383
構築物	3,615	3,615
減価償却累計額	△2,252	△2,366
構築物 (純額)	1,362	1,249
機械及び装置	269	271
減価償却累計額	△82	△106
機械及び装置 (純額)	186	164
車両運搬具	78	81
減価償却累計額	△66	△63
車両運搬具 (純額)	12	17
工具、器具及び備品	1,327	1,397
減価償却累計額	△976	△1,052
工具、器具及び備品 (純額)	351	344
土地	5,327	5,327
リース資産	2,366	2,592
減価償却累計額	△1,021	△1,288
リース資産 (純額)	1,345	1,304
建設仮勘定	547	1,381
有形固定資産合計	19,111	19,173
無形固定資産		
借地権	1,266	1,248
ソフトウェア	65	61
リース資産	-	62
その他	6	7
無形固定資産合計	1,338	1,380
投資その他の資産		
投資有価証券	25	30
リース投資資産	227	198
長期前払費用	124	79
繰延税金資産	686	625
敷金及び保証金	2,608	2,540
その他	23	23
投資その他の資産合計	3,696	3,498
固定資産合計	24,146	24,052
資産合計	40,544	42,612

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (2019年9月20日)	当事業年度 (2020年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	26	2
電子記録債務	964	940
買掛金	6,462	6,505
1年内返済予定の長期借入金	392	458
リース債務	402	447
未払金	707	849
未払費用	1,107	1,157
未払法人税等	48	425
賞与引当金	439	450
その他	203	1,267
流動負債合計	10,756	12,505
固定負債		
長期借入金	9,407	8,948
リース債務	1,231	1,080
退職給付引当金	1,513	1,577
長期未払金	460	340
長期預り敷金保証金	407	376
資産除去債務	3,058	3,090
損害補償損失引当金	65	—
固定負債合計	16,144	15,414
負債合計	26,900	27,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,425	1,425
資本剰余金		
資本準備金	1,585	1,585
資本剰余金合計	1,585	1,585
利益剰余金		
利益準備金	257	257
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,803	1,756
別途積立金	3,141	3,141
繰越利益剰余金	5,446	6,537
利益剰余金合計	10,648	11,693
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,659	14,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15	△10
評価・換算差額等合計	△15	△10
純資産合計	13,643	14,693
負債純資産合計	40,544	42,612

(2) 損益計算書

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
売上高		
商品売上高	91,803	95,755
不動産賃貸収入	343	354
売上高合計	92,146	96,110
売上原価		
商品期首たな卸高	7,260	8,285
当期商品仕入高	74,745	74,955
合計	82,006	83,241
商品期末たな卸高	8,285	7,239
商品売上原価	73,720	76,002
不動産賃貸原価	67	69
売上原価合計	73,787	76,072
売上総利益	18,358	20,038
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	8,412	8,859
賞与引当金繰入額	439	450
退職給付費用	112	142
減価償却費	1,095	1,196
その他	8,291	8,012
販売費及び一般管理費合計	18,351	18,661
営業利益	7	1,376
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	12
受取手数料	133	131
助成金収入	65	48
受取保険金	16	12
雑収入	46	47
営業外収益合計	275	252
営業外費用		
支払利息	93	111
固定資産除却損	79	5
損害補償損失引当金繰入額	65	—
雑損失	14	26
営業外費用合計	252	142
経常利益	30	1,486
特別損失		
減損損失	3,169	36
特別損失合計	3,169	36
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△3,138	1,449
法人税、住民税及び事業税	48	344
法人税等調整額	715	60
法人税等合計	764	405
当期純利益又は当期純損失 (△)	△3,903	1,044

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位 : 百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,837	3,141	9,638	14,875	△0	17,886	
当期変動額										
自己株式の取得								△0	△0	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△34		34	—		—	
剰余金の配当						△323	△323		△323	
当期純利益						△3,903	△3,903		△3,903	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△34	—	△4,192	△4,226	△0	△4,226	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,803	3,141	5,446	10,648	△0	13,659	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△1	17,884
当期変動額		
自己株式の取得		△0
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
剰余金の配当		△323
当期純利益		△3,903
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△14	△14
当期変動額合計	△14	△4,240
当期末残高	△15	13,643

当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

(単位 : 百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余 金合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						
				固定資産 圧縮積立 金	別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,425	1,585	257	1,803	3,141	5,446	10,648	△0	13,659	
当期変動額										
自己株式の取得								△0	△0	
固定資産圧縮積立金の 取崩				△47		47	—		—	
当期純利益						1,044	1,044		1,044	
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	△47	—	1,091	1,044	△0	1,044	
当期末残高	1,425	1,585	257	1,756	3,141	6,537	11,693	△0	14,703	

	評価・換 算差額等	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	
当期首残高	△15	13,643
当期変動額		
自己株式の取得		△0
固定資産圧縮積立金の 取崩		—
当期純利益		1,044
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	4	4
当期変動額合計	4	1,049
当期末残高	△10	14,693

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円)

	前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△3,138	1,449
減価償却費	1,103	1,204
長期前払費用償却額	2	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△92	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	49	64
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	65	△65
減損損失	3,169	36
受取利息及び受取配当金	△13	△12
支払利息	93	111
売上債権の増減額 (△は増加)	△545	△411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,037	1,050
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	△6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△255	1,019
その他	△585	989
小計	△1,155	5,443
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△89	△107
法人税等の支払額	△248	△2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,492	5,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,600	△2,550
定期預金の払戻による収入	1,800	1,800
有形固定資産の取得による支出	△5,571	△982
無形固定資産の取得による支出	△24	△26
投資有価証券の取得による支出	△3	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△701	—
敷金及び保証金の回収による収入	66	79
その他	△24	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,057	△1,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	6,200	—
長期借入金の返済による支出	△392	△392
配当金の支払額	△322	0
その他	△357	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,126	△825
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,424	2,830
現金及び現金同等物の期首残高	7,298	4,874
現金及び現金同等物の期末残高	4,874	7,704

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は、関連会社がないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、フーズ、ノンフーズ等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	62,857	28,946	343	92,146

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フーズ	ノンフーズ	その他	合計
外部顧客への売上高	66,039	29,715	354	96,110

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
1株当たり純資産額(円)	1,687.58	1,828.92
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	△482.69	129.81

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2019年9月20日)	当事業年度末 (2020年9月20日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,643	14,693
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,643	14,693
期末の普通株式の数(株)	8,084,755	8,033,720

(注) 3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当事業年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△3,903	1,044
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△3,903	1,044
期中平均株式数(株)	8,085,975	8,046,151

(重要な後発事象)

該当事項はありません。